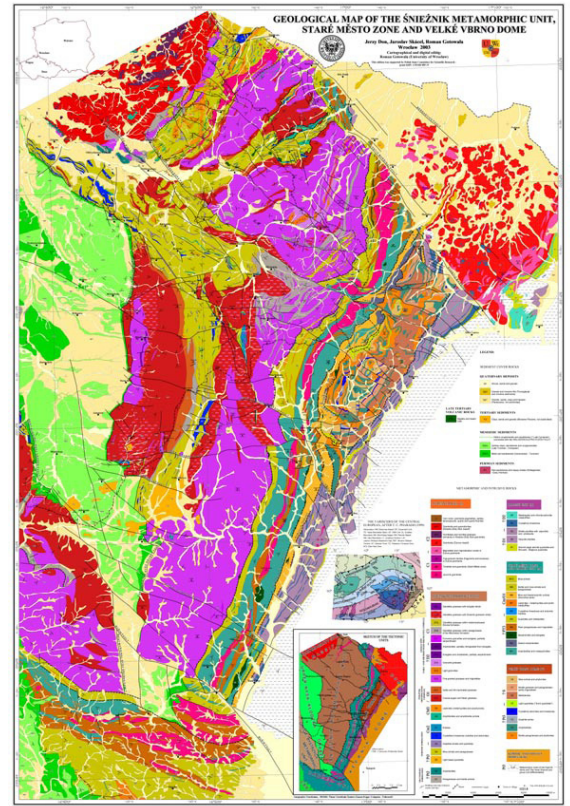
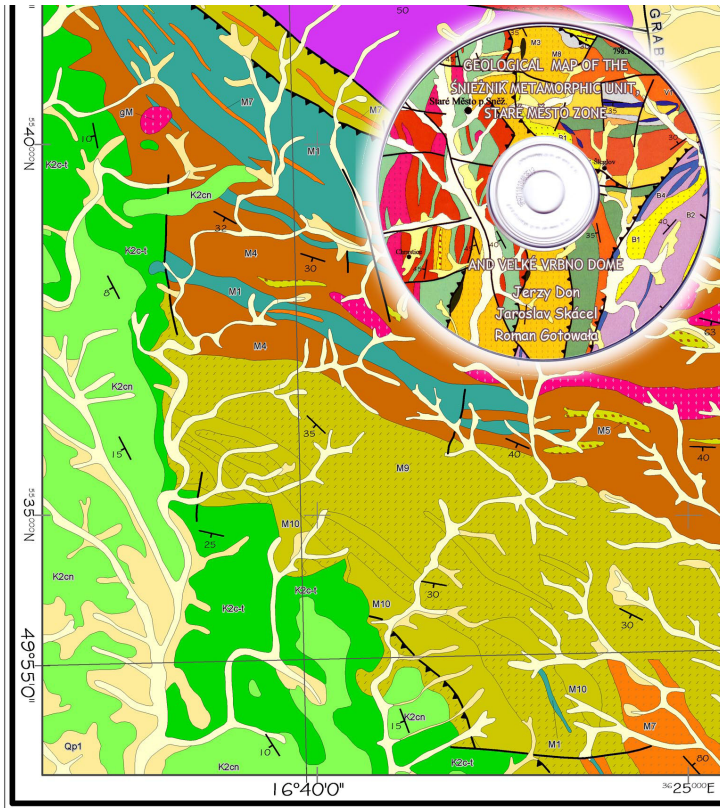


# マイクロイメージ・プレスリリース



## ポーランドのブツワフ大学の地質科学研究所では デジタル地質図の作成に TNTmips が使われています

ポーランドのブツワフ大学の地質科学研究所の研究者は、TNTmips を全面的に使用してポーランドとチェコ共和国の複雑な地質図のデジタル版（電子地図）と印刷版（紙地図）を作成しました。Jerzy Don や Jaroslav Skacel、Roman Gotowala 氏は、Snieznik 変成帯や Stare Mesto Zone、Velke Vrbno Dome の地質図を 5 万分の 1 の縮尺で編纂しました。面積は 1875 平方キロメートルを超え、61 の岩体や主要な断層、構造物の測定が含まれます。この地図では、TNTmips の地図レイアウトで利用できる多くの地図作成機能を利用しています：ポリゴンの塗り潰しやこみ入った凡例、テキストの注釈、索引図、スケールバー、マップグリッドなど。数多くの地質走向・傾斜のポイントシンボルはそれぞれ、関連するポイントデータベースから必要な値を読み込んで、カートスクリプト™（マイクロイメージ社開発）を使って適切な方角やラベルでレンダリングされます。このカラフルな地図のデジタルアトラスが、研究所から CD-ROM で入手できます（連絡先：romgot@ing.uni.wroc.pl）。また、このデジタル地図は無料の TNTatlas で表示することができます。CD-ROM と半分の縮尺（10 万分の 1、46cm × 66cm）の印刷版には、これらの著者によって書かれた論文「The boundary zone of the East and West Sudetes on the 1:50000 scale geological map of the Velke Vrbno, Stare Mesto and Snieznik Metamorphic Unit」（Journal Geologica Sudetica、35 巻、2003、pp25-29）が添付されています。

日本では、産業技術総合研究所地質調査総合センターの「20 万分の 1 日本シームレス地質図データベース」が TNTmips を使って図形や属性の統合作業が行われています。  
<http://riodb02.ibase.aist.go.jp/db084/index.html>